



古河市子ども・子育て会議
令和元年6月5日



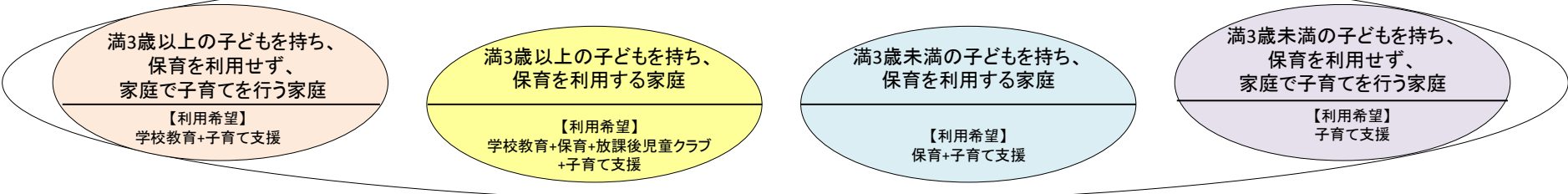
第2期古河市
子ども・子育て支援事業計画
に関する
アンケート調査報告について

(1) 第2期古河市子ども・子育て支援事業計画に関するアンケート調査報告

市町村子ども・子育て支援事業計画のイメージ

○市町村子ども・子育て支援事業計画は、5年間の計画期間における幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援についての需給計画。(子ども・子育て支援法第61条)

子ども・子育て家庭の状況及び需要

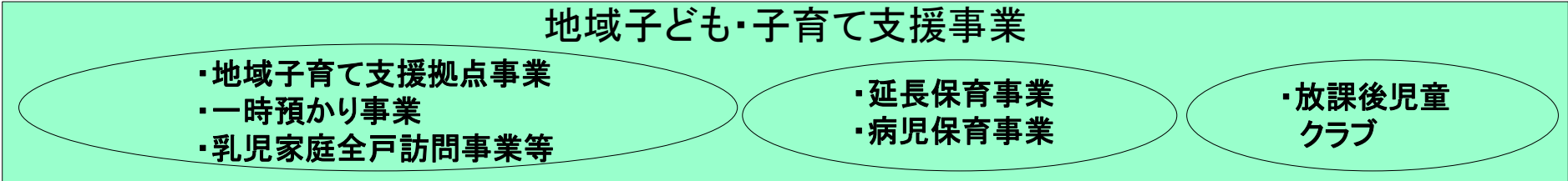
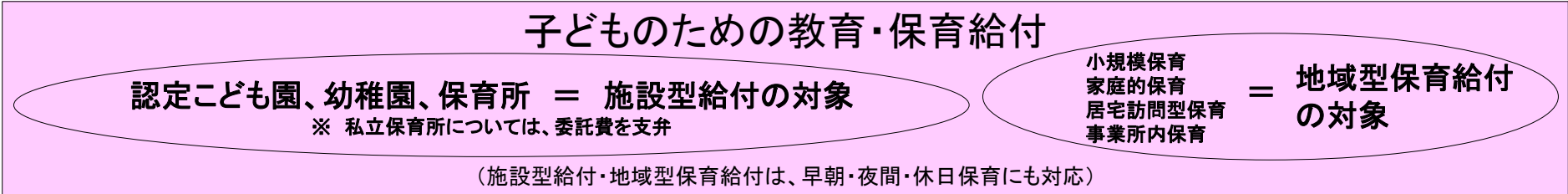


需要の調査・把握(現在の利用状況+利用希望)

市町村子ども・子育て支援事業計画(5か年)

幼児期の学校教育・保育・地域の子育て支援について、「量の見込み」(現在の利用状況+利用希望)、「確保方策」(確保の内容+実施時期)を記載。

計画的な整備



(1) 第2期古河市子ども・子育て支援事業計画に関するアンケート調査報告

古河市子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
子ども・子育て会議			★		★			★		★		
統計・動向調査把握	→ 関連計画の動向把握 利用実績等の評価											
ヒアリング		← ヒアリングシート作成			★	← ヒアリング結果反映						
各サービス事業量の推計	→ 人口推計		← 家族類型設定		← 量の見込み算定		← 確保方策算定					
計画(案)の作成			← 骨子案作成		← 計画素案作成		← 修正・計画案作成					
パブリックコメント									★	← パブリックコメント結果反映		
計画書作成										← 計画原稿作成・印刷		★

本市の場合、児童数は減少、保育ニーズは上昇と、増と減を同時に見込むこととなりますが、「量の見込み」と「確保方策」を適切に見込み、市の計画に沿った計画的な整備が行えるように努めます。

また、次回子ども・子育て会議では、委員の皆様にはヒアリングシートを配布しますので、お手数ですがご回答をお願いします。



古河市
公立保育所運営ビジョン
について

古河市公立保育所運営ビジョンについて

古河市 公立保育所 運営ビジョン

主な内部要因

強み(S)	弱み(W)
多様な民間保育施設等の立地 全国より高い女性の労働力	公立保育所の老朽化 更新経費と財源の乖離 公立正規保育士の不足

機会(O)

機会を活かす取組

女性の就業・共働き世帯の増加
 保育ニーズの多様化
 保育士不足
 待機児童の発生
 子育て施策への関心の増

- 官民全体で保育の受け皿を確保し、待機児童の解消を図る。
- 民間保育施設等で定員確保の中心を担うようにする。
- 官民全体の保育士不足への対応を図る。
- 官民が役割分担をしながら、多様な保育ニーズに対応する。

機会を逃さない取組

- 公立保育所を選択肢として残すため、一部長寿命化を図る。
- 公立正規保育士を計画的に採用し、保育の質の向上を図る。
- 行政はハードによる保育だけでなく、保育環境を支えるソフトの充実を図る。

主な外部要因

脅威(T)

脅威を克服するための取組

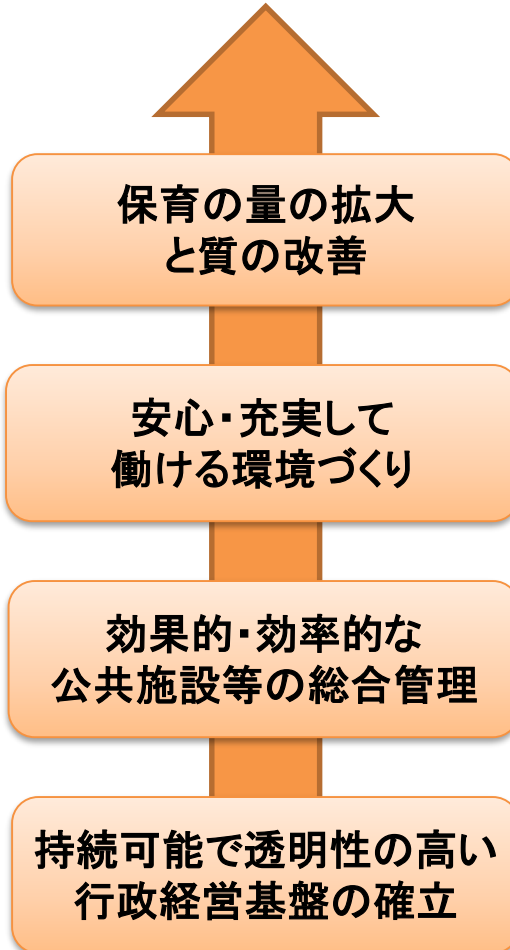
人口減少
 少子化
 入所希望数は減少傾向と予測
 公立施設減少の流れ

- 過剰な民間同士の競争を抑制する。
- 子どもを産み育てやすい環境を整備し、社会減と自然減を抑制する。

最悪の事態を招かない取組

- 老朽化した公立保育所の一部集約化を図り、定員の調整を行う。
- 過剰な正規保育士の確保は行わず、将来施設数を踏まえ確保する。

華のある都市
 古河
 市民と共に
 未来に誇れるまちづくり



古河市公立保育所運営ビジョンについて

施設名	本ビジョンに記載する目標年次		方針確定時期
	統合（閉所）	新規受け入れ無し（受付年次）	
第一保育所	令和2年度	平成31年度（H30）	平成30年4月頃に確定
第五保育所	令和3年度	令和2年度（R1）	平成31年4月頃に確定
関戸保育所	令和4年度	令和3年度（R2）	令和2年4月頃に確定

【例】施設の方針確定イメージ

	H28	H29	H30	H31/R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標 ビジョン				新規受入休止			統合（閉所）			
方針 確定 Aパターン				方針 確定	新規受入休止			統合（閉所）		
方針 確定 Bパターン						新規受入休止			統合（閉所）	

本ビジョンに記載する目標年次を方針確定時に再度見直し、統合（閉所）の時期を延ばすことや、新規受入を休止する時期や期間を決定していくこととします。

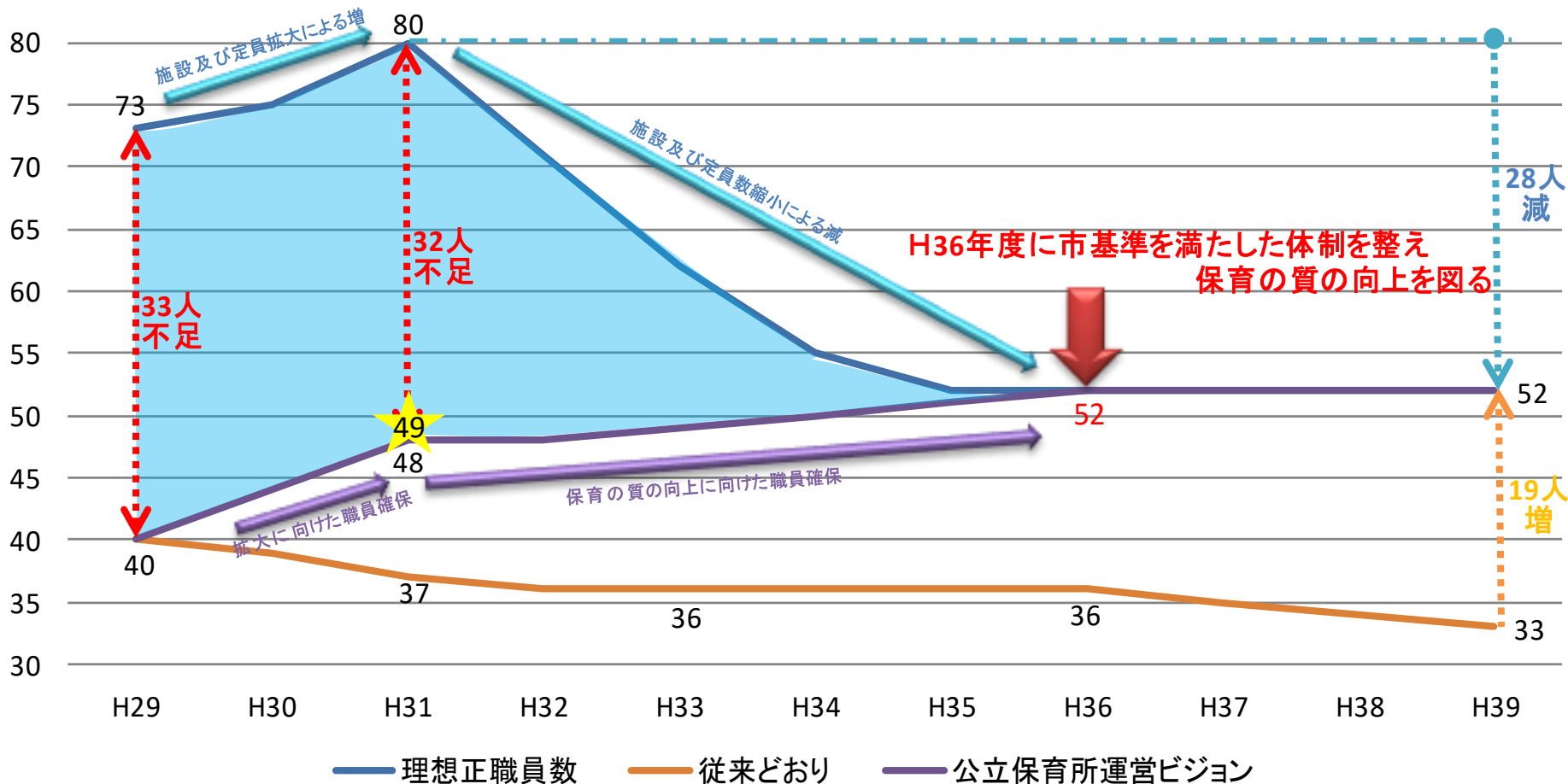
古河市公立保育所運営ビジョンについて

主な検討項目	うち細項目	主 な 検 討 内 容	参 考 出 典 等
市 全 体 の 人 口 動 向	総人口の動き	総人口が増加傾向でなく、減少傾向か	国勢調査
	子ども人口の動き	0歳から5歳の子ども人口が増加傾向でなく、減少傾向か	国勢調査
保 育 所 周 辺 の 人 口 動 向	総人口の動き	保育所立地地域のほか、その周辺地域を合算した場合の総人口が増加傾向でなく、減少傾向か	住基人口
	子ども人口の動き	保育所立地地域のほか、その周辺地域を合算した場合の0歳から5歳の子ども人口が増加傾向でなく、減少傾向か	住基人口
待 機 児 童	待機児童数の動き	待機児童の数が増加傾向でなく、減少傾向か	子ども福祉課資料
民 間 保 育 施 設 等 の 立 地	市全体の立地状況	ビジョンで見込んでいる定員数に対し、市全体の民間保育施設を含めた定員数が大幅に不足とならないか。	子ども福祉課資料
	保育所周辺の立地状況	該当する保育所周辺に立地する民間保育施設の立地状況や進出の見込みなどはあるか。	子ども福祉課資料
施 設 の 更 新 費 用	更新費用を捻出する財源の見込み	施設を更新又は維持する財源の見込みを立てることが可能か。	庁内協議
全 国 の 市 町 村 立 保 育 所 数	全国の市町村立保育所の動き	全国の市町村立保育施設が、増加傾向でなく、減少傾向か	公共施設等状況調査
制 度 改 正	施設の維持に係る制度改正の有無	施設を更新又は維持することが可能となる制度改正が見込まれるか	国・県の動向

上記の検討に加え、住民や利用者からの声についても検討の項目とし、市の未来のために、総合的に判断を行い、公立保育所運営ビジョンに記載する、令和3年3月31日に古河市立第五保育所を閉所する方針確定を行いました。

古河市公立保育所運営ビジョンについて

理想的な正職員配置との乖離と配置適正化



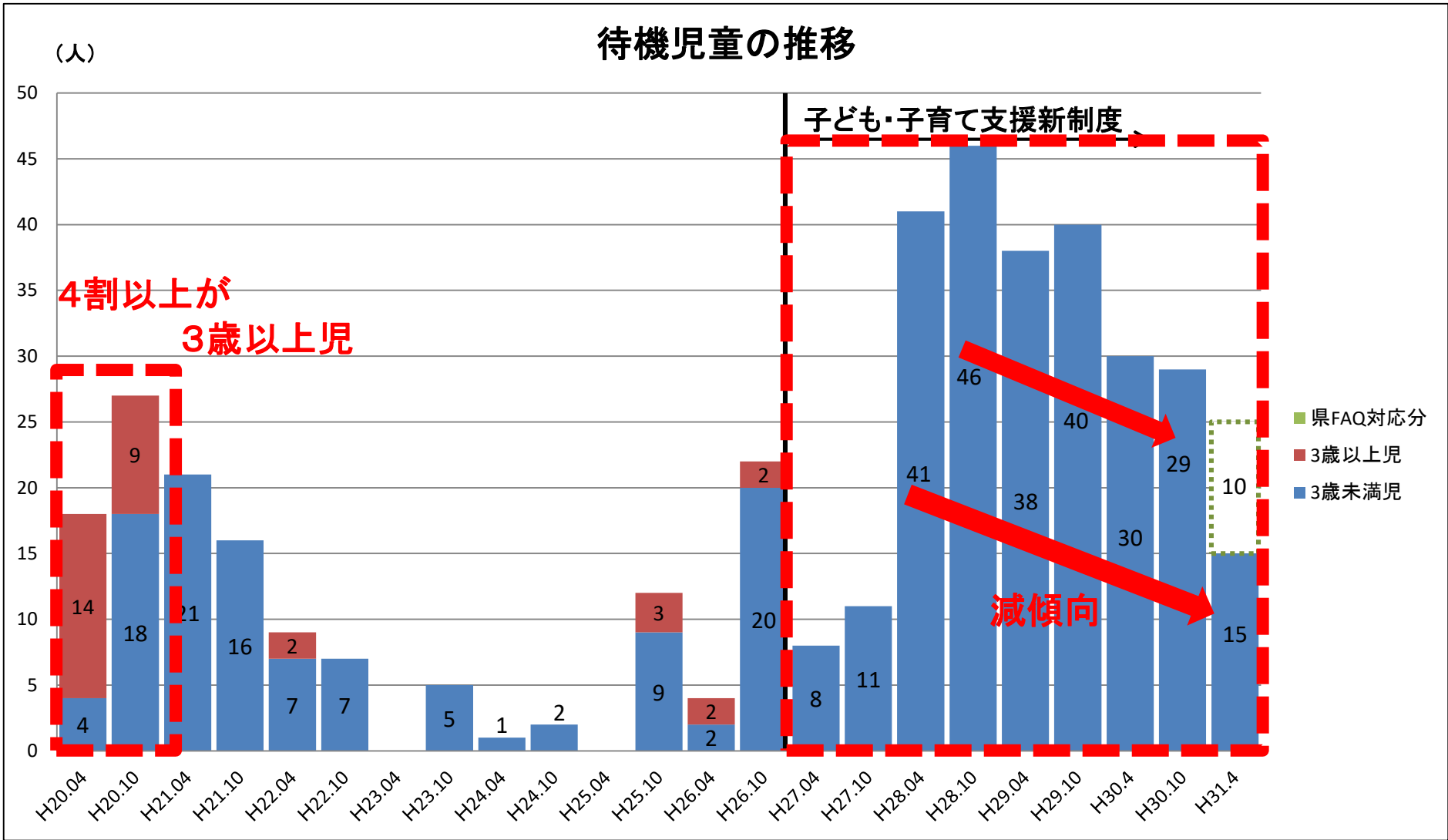
公立保育所運営ビジョンに基づき、約10年ぶりに正規職員保育士の確保を開始し、昨年度も計画的に職員を採用しました。現在の保育士は49名となっています。

次年度以降も計画的に採用を行うなど、公立保育所の質の向上に努めてまいります。



待機児童数について

平成31年4月1日時点の待機児童数について



- 平成29年度と平成30年度では微減傾向がみられ、平成31年度も引き続き減少となった。
- 平成31年度には待機児童を解消すると目標を掲げているが、解消が出来ていない状況。

平成31年4月1日時点の待機児童数について

FAQ 保育所等利用待機児童調査 抜粋

Q 調査要領によれば、「特定の保育所等を希望し、待機している場合には待機児童に含めないこと」とあるが、どのような場合を指すのか。

A 「特定の保育所等を希望」とは、ほかに利用可能な保育所等の情報提供を行ったにもかかわらず、合理的な理由もなく、特定の保育所のみ(単一施設のみならず、複数の特定の保育所のみを希望している場合も含む)を希望して待機となっている場合をさします。

【変更イメージ】

従	来	第一希望	第二希望	第三希望	第四希望
希望する施設		A保育園	B認定こども園	C保育所	

一次利用調整

→ 単一施設のみ希望ではないため、待機児童としてカウント

今	回	第一希望	第二希望	第三希望	第四希望
希望する施設		A保育園	B認定こども園	C保育所	

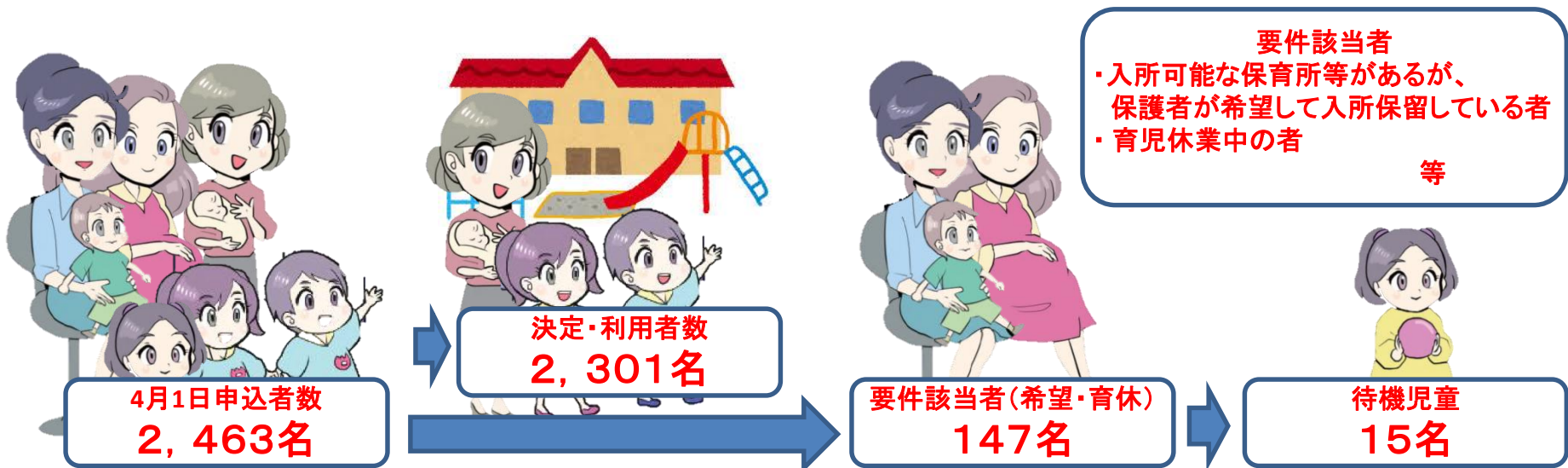
二次利用調整

↓ 空きのある施設を情報提供

今	回	第一希望	第二希望	第三希望	第四希望
希望する施設		D保育園			

→ 変更したが入所できなかった場合、待機児童としてカウント

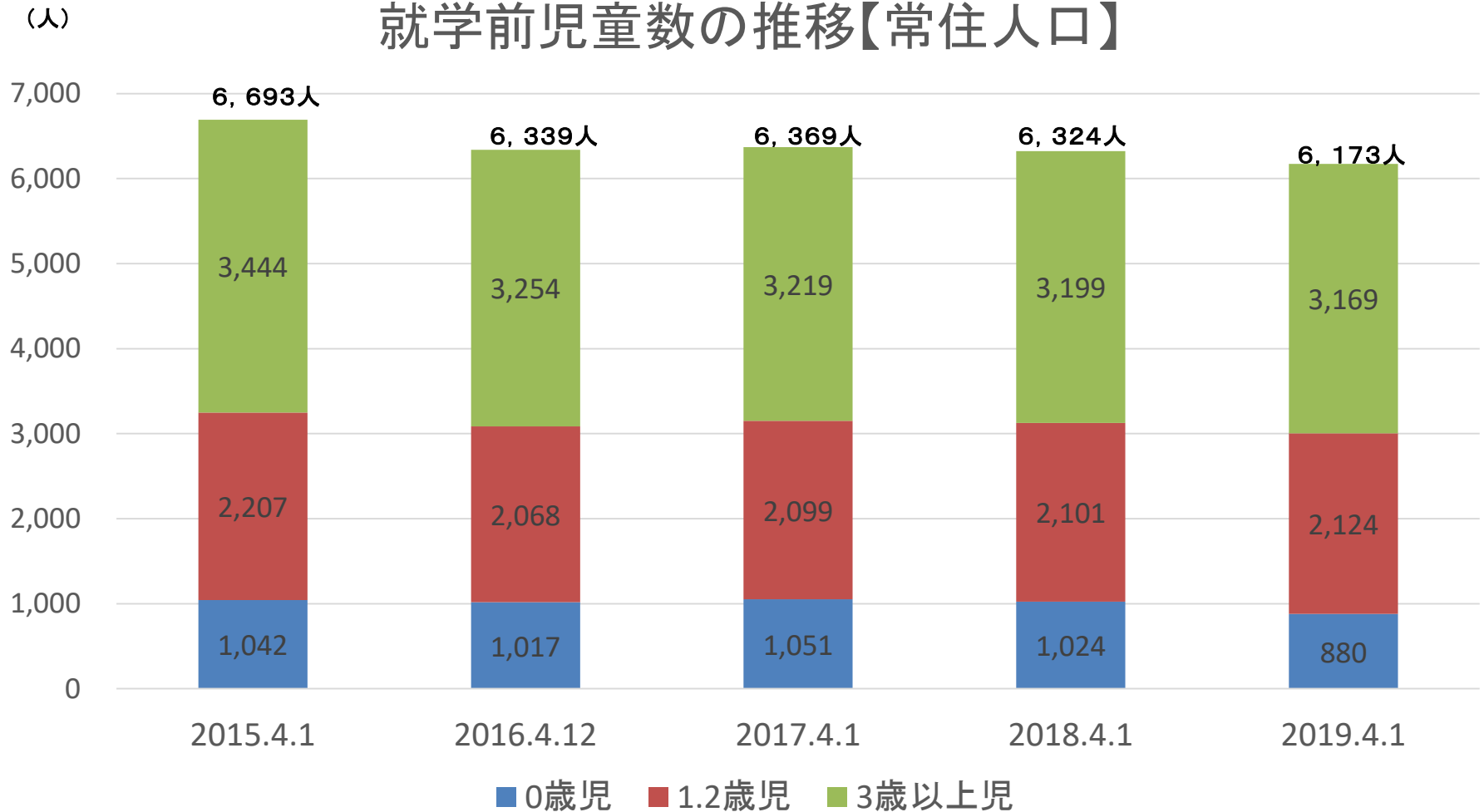
平成31年4月1日時点の待機児童数について



年齢	申込者数 (A)	利用者数 (B)	要件該当者 (C)	待機児童 (D=A-B-C)
0歳	72人	47人	21人	4人
1歳+2歳	932人	811人	110人	11人
3歳以上	1,459人	1,443人	16人	0人
合計	2,463人	2,301人	147人	15人

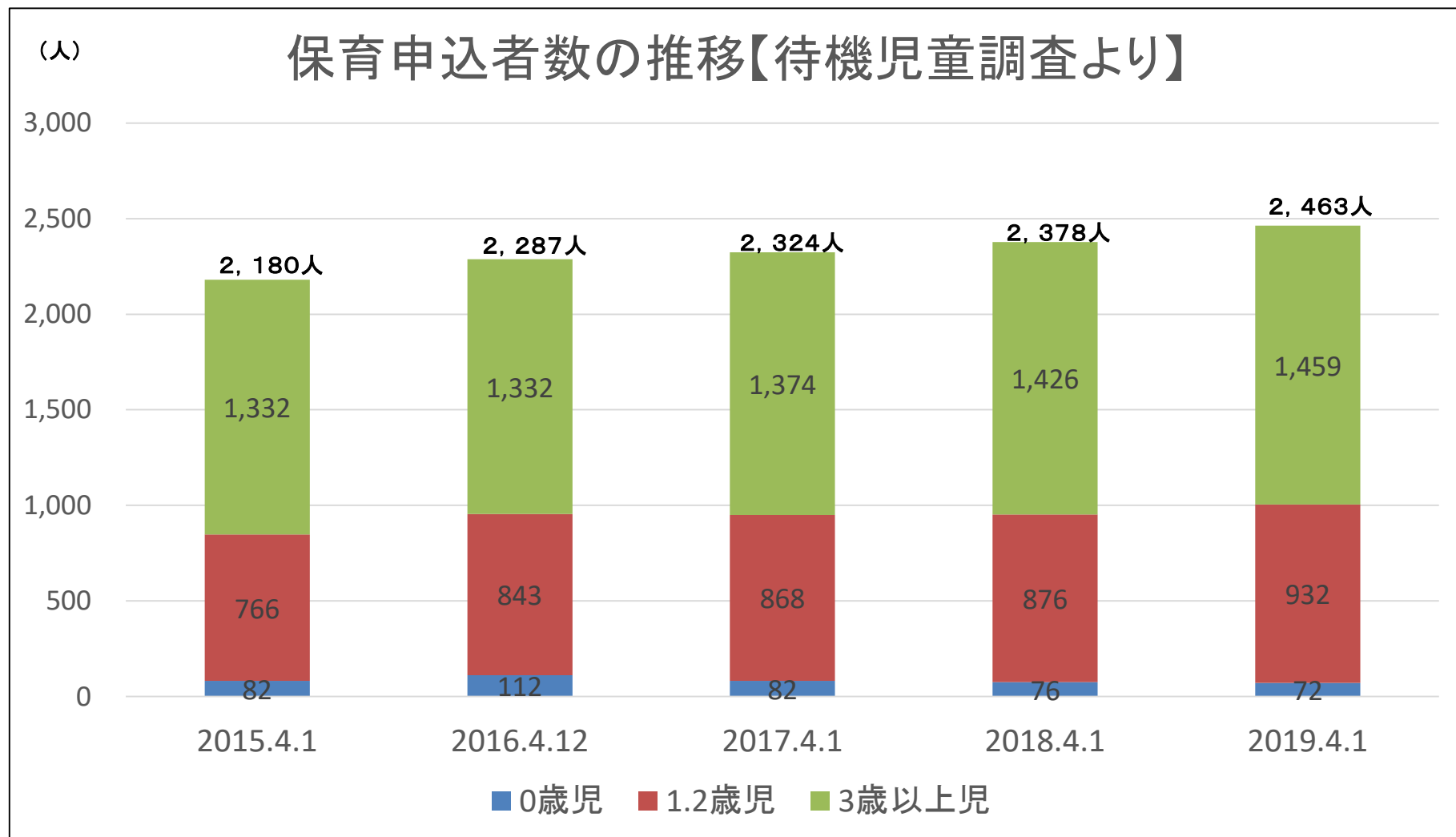
平成31年4月1日時点の待機児童数について

就学前児童数の推移【常住人口】



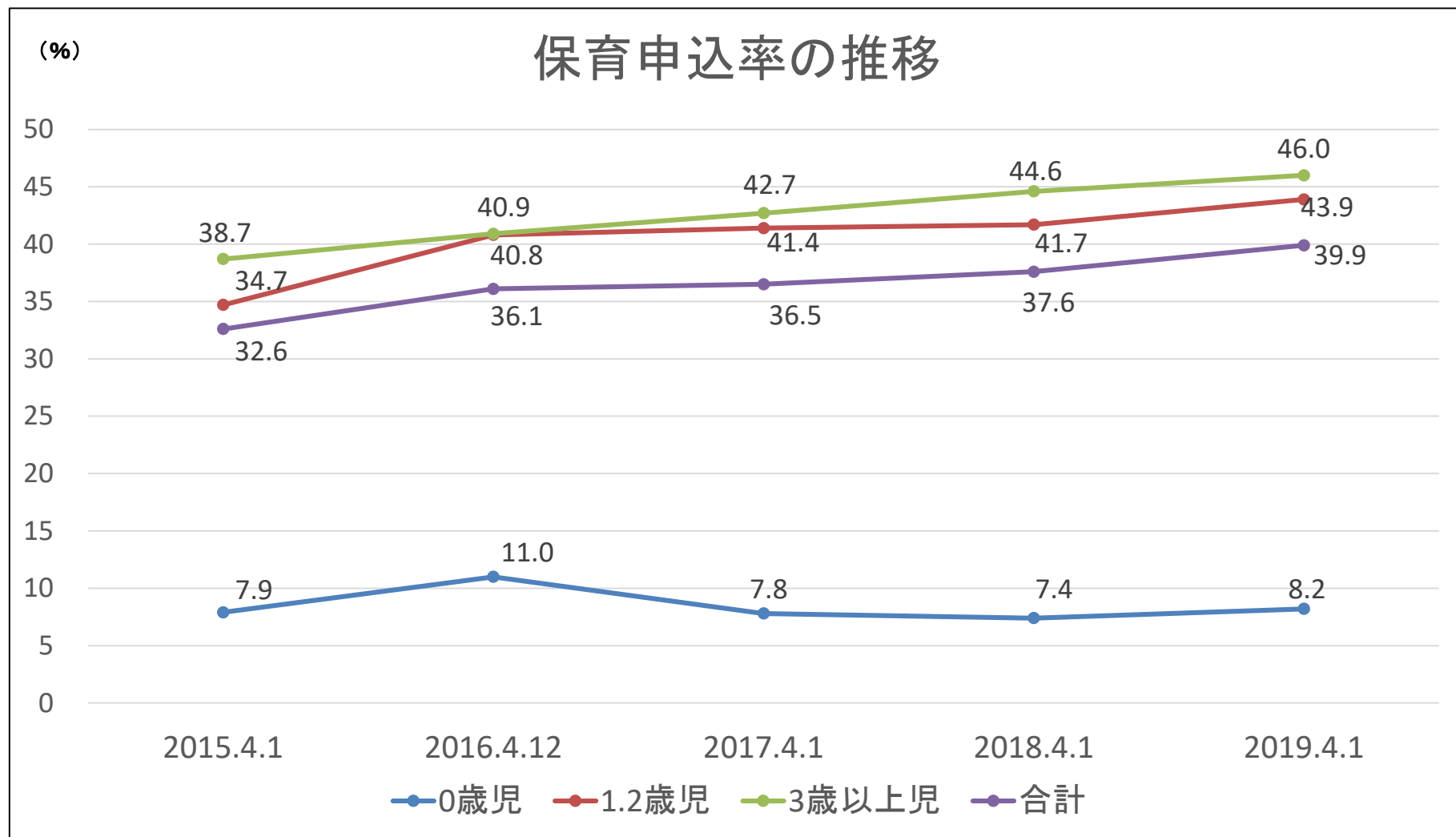
0歳から5歳の子どもの数は、2015年と比較し、520人(7.77%)減少。
特に今年度は0歳児の数が1,000人を下回り、少子化が進んでいる。

平成31年4月1日時点の待機児童数について



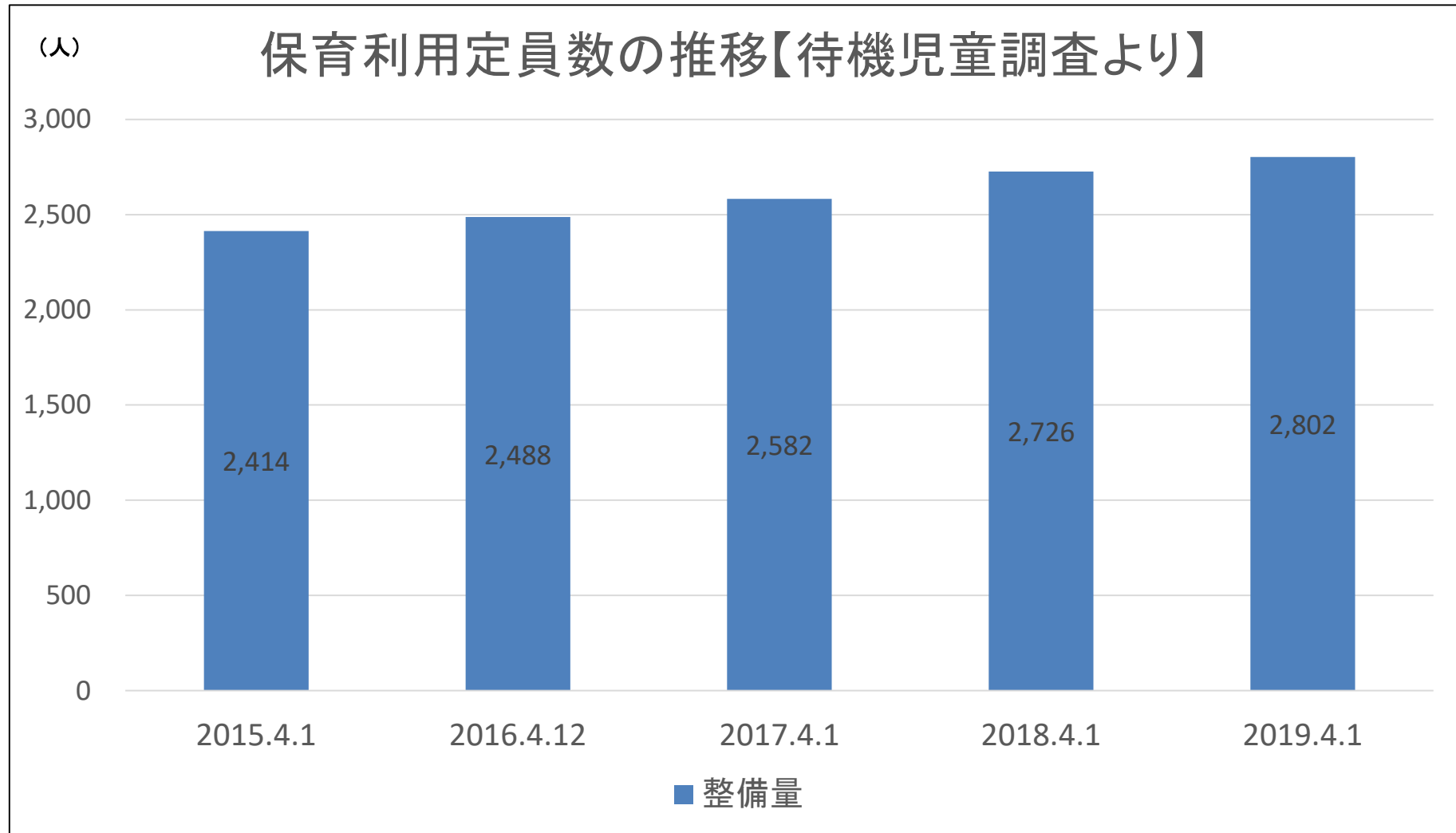
全体申込数は、2015年と比較し283人(13.0%)増加。0歳申込数は、10人(12.2%)減少。1・2歳申込数は、166人(21.7%)増加。3歳以上申込数は、127人(9.5%)増加となっており、申込者は増加傾向である。

平成31年4月1日時点の待機児童数について



申込率は、2015年と比較し7.3ポイント増加。0歳申込数は、0.3ポイント増加。1・2歳申込数は、9.2ポイント増加。3歳以上申込数は、7.3ポイント増加となっており、申込率は増加傾向である。

平成31年4月1日時点の待機児童数について



利用定員数は、2015年と比較し388人(16.1%)増加となっている。申込数よりも多くの定員数を確保できている状況にある。今後の新設については、慎重な対応をしていくことを検討する必要がある。今年度策定する計画の中で検討を進めてまいります。